

マイナンバーカードの交付状況等について

1 マイナンバーカードの申請・交付状況

(1) 本市のマイナンバーカードの交付枚数及び交付率（総務省ウェブサイトより抜粋。令和4年1月1日現在）

区分	人口（R3. 1. 1現在）	交付枚数（R4. 1. 1現在）	人口に対する交付率
横浜市	3,759,939	1,688,691	44.9%
全国	126,654,244	51,871,720	41.0%
政令指定都市※	27,549,061	11,865,268	43.1%

※横浜市は政令指定都市5位

(2) 申請数と交付枚数の推移

	R3. 4月	R3. 5月	R3. 6月	R3. 7月	R3. 8月	R3. 9月	R3. 10月	R3. 11月	R3. 12月	R4. 1月
申請数	136,558	49,756	20,063	14,735	16,481	20,534	22,512	53,092	29,941	33,711
交付枚数	53,824	56,894	85,180	89,555	80,005	40,063	33,446	36,156	44,990	29,566

2 令和3年度の本市の取組

(1) 交付体制の整備

平日夜間や土日祝日にも対応したマイナンバーカード特設交付拠点（以下、「特設センター」という）を市内3か所（横浜駅西口、センター北、上大岡）に整備し、交付促進に取り組んでいます。

(2) 申請喚起策の実施

各種広報活動を通じて未取得者に申請を促すとともに、職員等が地域や企業・店舗等に出向いて申請書の記入支援を行うなど、新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながら、直接の申請に結びつく交付促進活動を積極的に進め、目標達成に向けて取り組んでいます。

項目	主な実施内容	主な実施場所・媒体等 ※実績は令和4年1月実施分まで	
広報活動	PR記事の掲載・発信、ポスター掲出、チラシの配布、PRブース設置など	広報よこはま	令和3年8月、10月、12月
		テレビ	ハマナビ（令和3年8月）
		ラジオ	FM Yokohama:ヨコハママイチョイス(8月)、マリンFM(11月)
		Line、Twitter	令和3年6月30日以降随時発信
		交通広告	市営地下鉄ブルーライン中吊り・駅貼り（令和3年9月）
		市庁舎	広報展示（2階、令和3年12月～令和4年1月）
申請支援等	本市職員が店舗等に出向き、申請に必要となる顔写真の無料撮影を行い、申請書の記入支援などを行う。	中小企業	市工業会連合会加盟の企業で実施 3回、38人
		商業施設	イトーヨーカドー、イオン等本市連携協定締結の店舗やハンマーヘッド、商店街（左近山）等で実施 110回、6,178人
		公共機関等	神奈川県警察、郵便局、税務署等で実施 15回、360人
		市庁舎	市民及び職員向け（令和3年7月、令和4年1月） 4回、214人
		その他	区役所、特設センター、駅構内、そごう横浜前広場、水産研究・教育機構など 125回、2,409人
合計			257回、9,199人

3 令和3年度の国の取組・要請

- マイナンバーカードの健康保険証利用の本格運用（令和3年10月20日本格運用開始）
- 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書のデジタル化（令和3年12月20日運用開始）
- 交付体制の整備（臨時交付窓口の確保、土日交付の積極的実施など）
- 申請受付等の推進（商業施設や確定申告会場など、生活に身近な場所などでの積極的実施）

4 国による「マイナポイント第2弾」（令和4年1月事業開始）

- カード新規取得者等へ最大5,000円相当のポイント付与（令和4年1月1日付与開始）
- カードを健康保険証としての利用登録を行った方に7,500円相当のポイント付与（※）
- 公金受取口座の登録を行った方に7,500円相当のポイント付与（※）

※4（2）（3）は令和4年6月頃開始予定

5 今後の本市の取組

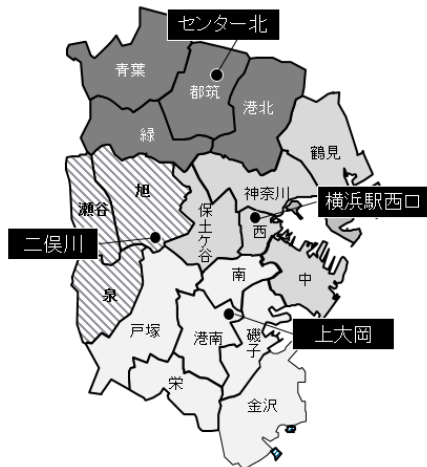
マイナンバーカードは行政手続のオンライン化における電子的な本人確認への活用など、デジタル社会の基盤となることから、次のとおり交付体制を拡充するとともに申請喚起策を拡大実施することで、「令和4年度末までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有する」という目標達成に向けて、区局を挙げて全力で取り組んでまいります。

(1) 特設センターの新設

令和4年度においては、更なる取得促進と交付体制の増強、西部エリアの方の利便性向上を図るため、**二俣川に新たに特設センターを1か所整備**します。

ア 二俣川特設センターの対象区

旭、泉、瀬谷の3区とします。



	特設センター			
	センター北	(令和3年度は横浜駅西口)		上大岡
		横浜駅西口	二俣川	
対象区	港北 緑 青葉 都筑	鶴見 神奈川 西 中 保土ヶ谷 (旭) (泉) (瀬谷)	旭 泉 瀬谷	南 港南 磯子 金沢 戸塚 栄
人口	約106万人	約100万人	約52万人	約117万人

※居住区の区役所、または居住区が該当する特設センターのいずれかでカードの受け取りが可能

イ 二俣川特設センターの概要

(ア) 開設場所 横浜市旭区二俣川 1-5-5 二俣川北口第2ビル3階 (駅から徒歩1分)

(イ) 開設時期 令和4年5月中旬

ウ 特設センターの開所時間

【月・火・金】11:30～19:30 (受付は19:15まで) 【土・日・祝】9:00～17:00 (受付は16:45まで)

※水・木曜日、第三土曜日の翌日曜日、年末年始(12/29～1/3)は休業日。

(2) 申請喚起策の拡大実施

令和4年度末の目標達成に向けて、**各種広報活動の積極的実施**や**身近な場所での申請機会の更なる拡大**など、**新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながら**、区と局が連携してカードの申請喚起に向けた取組を加速します。

実施項目	主な実施場所・媒体等
広報活動	広報よこはまや地域情報紙 など紙面での広報のほか、 LINEやTwitterなどSNSを活用した広報をタイムリーに発信 するとともに、 各種団体等の会合などの機会を活用して対面での説明を実施 するなど、積極的な広報を展開します。
申請支援等 ・出張申請サポート ・出張申請受付	実施場所を拡大 するとともに、これまでの実績を踏まえ、 土日など、より効果的な日程を増やします。 ・包括連携協定の店舗等の協力を得て 実施店舗の拡大 や 土日など、より効果的な日程を追加 ・ アウトレットモールや大学 など、比較的申請率が低い若い世代が集まりやすい場所や、 携帯電話会社、金融機関 などの新たな実施場所を追加 ・ 国と協力 して市内商業施設での申請サポート機会拡大 ・申請者に対する 魅力的なインセンティブの用意(観光施設チケット等) ・市庁舎等で 横浜市職員向けにも実施 し、職員の取得率向上を図る

6 今後の国の取組

- (1) **マイナンバーカードの機能(電子証明書)のスマートフォンへの搭載**(令和4年度中に実施予定)
- (2) **マイナンバーカードと運転免許証の一体化**(令和6年度末までに実施予定)